

日本国際連合学会 2009 年度 研究大会プログラム

日程：2009 年 6 月 20 日（土）・21 日（日）

会場：早稲田大学 大隈小講堂（〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1、地図別添）

プログラム

統一テーマ：「変容する国連の理念と実践」

国連は近年さまざまな新しい理念や概念を用いてその活動を行ってきた。それらは国連が単なる設立条約に基づく政府間機構の枠組みにとどまらず、有機的発展を遂げてきている証拠である。

第 1 日目

9:20 受け付け開始

9:50 開会の挨拶 渡邊 昭夫（日本国際連合学会 理事長）

10:00-12:30 第 1 セッション「主権国家の枠を超える国連一人間の視座へ」

国連は政府間国際機構ではあるが、近年の活動は、「主権国家」から「人間」にその視座を移してきたように思われる。新しい理念や概念のもつ「人間」性が主権国家を構成員とする国連の実践の中でどのような意義をもつであろうか。

座長：大泉 敬子（津田塾大学教授）

「保護する責任～人間の安全保障の視点から」 松隈 潤（東京外国語大学教授）

「平和構築」 星野 俊也（大阪大学教授）

「人権の主流化」 横田 洋三（中央大学教授）

「Delivering As One in Post-Conflict Countries」 長谷川 祐弘（法政大学教授）

12:30-14:00 昼食（理事会、大隈会館 1 階「楠亭」）

14:00-17:00 第 2 セッション「日本外交と国連」

国連加盟当初に国連中心主義を唱えていたわが国は、いまや分担金比率で第 2 位の地位を占め、安保理常任理事国になるべき存在と認められるようになった。さらに、わが国は、人間の安全保障を始め、さまざまな分野で大きく貢献している。ここで来し方を振り返り、行く末を見通してみよう。

座長：渡邊 昭夫（日本国際連合学会 理事長）

基調講演 緒方 貞子（JICA 理事長）

パネルディスカッション

- パネリスト 緒方 貞子 (JICA 理事長)
- 北岡 伸一 (東京大学教授)
- 千野 境子 (産経新聞特別記者)
- 佐藤 正久 (参議院議員)
- 廣木 重之 (外務省総合外交政策局審議官)

17:00-17:30 総会

18:00-20:00 懇親会

会場：「リーガロイヤルホテル東京」3階ガーデンテラス (会費：学生 4,000 円、一般 6,000 円)

第2日目

10:00-12:30 第3セッション 若手独立報告

座長：位田 隆一 (京都大学教授)

「国連平和維持局の組織学習 — 体制構築と実施」 小林 綾子 (東京海上日動リスクコンサルティング(株) 研究員)

「国連安保理の第7章権限に対する統制 — 統制者は誰か」

金武 真智子 (京都大学大学院法学研究科博士後期課程)

「腐敗防止に関する国際規範形成過程の分析

— 国連グローバル・コンパクト原則 10 追加に至る過程でのトランスペアレンシー・インターナショナルの役割」

柳 始賢 (一橋大学大学院法学研究科博士後期課程)

12:30-14:00 昼食 (編集・企画合同委員会、大隈小講堂控室)

14:00-17:00 第4セッション「地球社会のパートナーシップ」

国連は、様々な非国家アクターをパートナーとして、その活動を推進してきている。それぞれのアクターの立場から、国連による地球社会のガバナンスに向けてのパートナーシップのありようを探ってみよう。

座長：功刀 達朗 (国連大学高等研究所 客員教授)

「地域組織とのパートナーシップ」 佐々山 拓也 (外務省経済局 APEC 室 室長)

「国連グローバル・コンパクト」 有馬 利男 (Global Compact Japan Network 議長・富士ゼロックス相談役特別顧問)

「国連と千葉県の障害者条例」 堂本 暁子 (前千葉県知事)

「国連と NGO との協働」 木山 啓子 (特定非営利法人ジェン (JEN) 事務局長)